

大連市政治・経済情勢週報（平成 28 年 5 月 21 日～5 月 27 日）

在瀋陽日本国総領事館在大連領事事務所

【政治】

21 日：肖盛峰市長、アカシア祭り及び大連マラソンの準備状況を聴取

21 日、肖盛峰大連市長主宰による会議が開催され、第 27 回大連アカシア祭り及び東北アジア国際観光文化ウィーク、第 1 回中日観光大連ハイレベルフォーラム、第 29 回大連国際マラソンの準備状況について聴取した。

（22 日付半島晨报 A04 面）

22 日：大連市、東北再振興及び市指導者幹部の実績評価に関する会議を開催

22 日、大連市は東北再振興に関する中央の政策の精神を貫徹し、指導者グループと指導者幹部の実績評価作業を推進させるための会議を開催した。唐軍大連市党委書記と肖盛峰大連市長が講話を行い、里景瑞大連市人代主任、李万才大連市政協主席ら市幹部が出席した。

（23 日付半島晨报 A06 面）

24 日：大連市環境保護工作会議開催

24 日、大連市環境保護工作会議が開催され、同時に大連市水質汚染防止工作方案の実施工作が開始された。唐軍大連市党委書記、肖盛峰大連市長らが会議に出席した。（25 日付大連晩報 A2 面）

25 日：大連市党委中心組、「两学一做」学習会を開催

25 日、唐軍大連市党委書記の主宰による大連市党委中心組「两学一做」テーマ学習会が開かれ、肖盛峰大連市長らが出席した。（「两学一做」とは、党のルールを守り、一連の講話の精神を学び、模範的な共産党員になろうという政治スローガン）。（26 日付半島晨报 A11 面）

25 日：市政府党組、拡大会議を開催

25 日、肖盛峰大連市長の主宰による市政府党組拡大会議が開かれ、唐軍大連市党委書記らが出席した。同会議では「两学一做」テーマ学習会が行われた。（26 日付半島晨报 A11 面）

【経済】

19 日：大連産のディーゼル機関車を積んだ輸送船、南アに向け第 1 便が出航

19 日、中車大連機車車輛有限公司が製造したディーゼル機関車を積んだ輸送船が、大連港から南アフリカに向け初めて出航した。同社と南アフリカ国有運輸集団は 2014 年に 232 台のディーゼル機関車の輸出契約を締結しており、契約総額は約 9 億米ドルで、ディーゼル機関車の輸出契約としては国内で過去最高の金額となっている。（23 日付大連日報 1 面）

21 日：唐軍書記、韓国からの客人と会見

21 日、唐軍大連市党委書記は、第 27 回大連アカシア祭り関連行事に出席するため来連した韓国観光協会中央会の金烘主会長一行、韓国鉅鵬グループの白茸基会長一行とそれぞれ会見した。

（22 日付半島晨报 A04 面）

21日：唐軍書記、キルギス共和国イシク・クル州のアギバイエフ州長と会見

21日、唐軍大連市党委書記は、第27回大連アカシア祭り関連行事に出席するため来連したキルギス共和国イシク・クル州のアギバイエフ州長及び同国の工業家・企業家連盟サゲンバイエフ主席一行と会見した。(22日付半島晨报 A04 面)

22日：唐軍書記、中国光大集団の唐双寧董事長と会見

22日、唐軍大連市党委書記及び肖盛峰大連市長は、中国光大集団の唐双寧董事長一行と会見し、同集団の金融サービス面と資金面におけるサポート等を希望した。(23日付半島晨报 A06 面)

22日：大連市旅遊協会、キルギス国家観光協会と協力枠組み取決めを締結

21日、大連市旅遊協会とキルギス国家観光協会は協力枠組み取決めに署名した。署名式には、肖盛峰大連市長、キルギス共和国イシク・クル州のアギバイエフ州長(兼国家観光協会主席)も出席した。(23日付半島晨报 A06 面)

23日：唐軍書記、高新区文化産業の発展状況を視察

23日、唐軍大連市党委書記は高新区を訪れ、文化産業の発展状況を視察した。また、唐軍書記は座談会を開催し、文化企業団体の責任者らと大連市の文化産業を発展させる方法などについて意見交換を行った。(24日付半島晨报 A11 面)

23日、24日：中日観光大連ハイレベルフォーラム開催

23日及び24日、中日観光大連ハイレベルフォーラムがシャングリラホテルにて開催された。同フォーラムでは「協力発展、北東アジア観光の新たな局面を開拓する」をテーマに、「合作、発展、Win-Win」の角度から、両国の政府関係者や観光業界団体などが観光協力や中日友好などの問題について意見を交換した。(24日付半島晨报 A11 面)

同フォーラムには、国家旅遊局の杜江副局長、中国旅遊協会の張潤鋼副会長、遼寧省旅遊局の郝春栄局長、舞鶴市の多々見良三市長、伊万里市の塚部芳和市長などの来賓が出席し、成果文書として「大連宣言」が発表された。(27日付大連日報 10 面)

【社会・文化】

22日：第29回大連国際マラソン大会開催

22日、第29回大連国際マラソン大会が東港国際会議センターを起点に開催された。肖盛峰大連市長らが開幕式に出席し、スタートの合図を行った。5年ぶりに市内で開催された同大会にはエチオピア、ジンバブエ、タンザニア、ケニア、アメリカ、オランダ、カナダ、日本、韓国など35カ国、国内28の省・市・自治区から集まったおよそ26,700人のランナーが参加した。なお、男女フルマラソンの優勝者はそれぞれ以下のとおり。

男子フルマラソン優勝：バイ・ジア選手(エチオピア)(タイム：2時間17分51秒)

女子フルマラソン優勝：チー・ロティ選手(ケニア)(タイム：2時間40分16秒)

(23日付大連日報 1 面)

22日：第27回大連アカシア祭り開幕

22日、棒極島風景区にて「第27回大連アカシア祭り及び東北アジア国際観光文化ウィーク」開幕式が開催され、肖盛峰大連市長ら大連市幹部、伊万里市長、北九州市副市長、全日空の大橋洋治最高顧問等国内外のゲストが出席した。(23日付新商報 A08 面)

25日：「千年古代ハス」、棒極島賓館に移植

25日、普蘭店市で栽培されている著名な「千年古代ハス」及び宇宙空間で変異した「宇宙ハス」、睡蓮など300株余りが、普蘭店市の古代ハス園から棒極島賓館に移植された。移植作業は今後も続けられ、合計で約1,000株になる見込み。(26日付大連日報3面)

【日本関連報道】

20日：大連市中日友好協会主催のアカシア祭り書画展開催

5月22日から28日まで開催予定の「第27回大連アカシア祭り及び東北アジア国際観光文化ウィーク」関連文化行事の一つとして、大連市中日友好協会は20日、日本の篆刻家の師村妙石氏及び中日友好協会顧問の瑞声氏の書画作品展を開催した。(21日付新商報 A04 面)

21日：伊万里市の塚部芳和市長、大連市の名誉市民に

21日、肖盛峰大連市長は、アカシア祭り関係行事に参加するため大連を訪れている伊万里市の塚部芳和市長に大連市名誉市民証書等を授与した。(塚部市長が市長に就任した後、大連市と伊万里市の友好関係を更に発展させるための「友好協力関係の更なる強化に関する協議書」が締結されている。)(22日付半島晨报 A04 面)

21日：唐軍書記、全日空の大橋洋治最高顧問と会見

21日、唐軍大連市党委書記は、第27回大連アカシア祭り関連行事に出席するため来連した全日空の大橋洋治最高顧問(日本経団連顧問、大連名誉市民)一行と会見した。(22日付半島晨报 A04 面)

22日：「第1回中日10都市千人アカシアウォーキング大会」開催

棒極島風景区にて行われた「第27回大連アカシア祭り及び北東アジア国際観光文化ウィーク」開幕式終了後、第1回目となる「中日10都市千人アカシアウォーキング大会」が同風景区にて開催された。当該ウォーキング大会は大連市中日友好協会が中心となって組織されたもので、日本の19の都市から集まった200名以上の日本人、大連に駐在又は留学している日本人、多くの大連市民等約千人の参加者がウォーキングを楽しんだ。

23日：肖盛峰市長、多々見良三舞鶴市長と会見

23日、肖盛峰大連市長は第27回大連アカシア祭り及び北東アジア国際観光文化ウィークに出席するため大連を訪れた多々見良三舞鶴市長と会見を行った。肖盛峰市長は会見上、舞鶴市と更に友好を深め、医療・養老などの分野で幅広く協力していきたいと述べた。これに対し多々見市長は大連市との更なる関係発展を望むと述べ、両者は大連市と舞鶴市間のクルーズ船就航に関し意見交換を行った。(24日付半島晨报 A11 面)

23日：肖盛峰市長、大連華信の年次会合に参加し日本企業家らと会談

23日、肖盛峰大連市長は大連華信コンピュータ技術株式有限公司の年次会合に参加しているみずほ情報総研株式会社の西澤順一代表取締役社長、新日鉄住金ソリューションズ株式会社の謝敷宗敬代表取締役社長、三菱電機商業株式会社の川上真二代表取締役社長、関電システムソリューションズ株式会社の下村匡常務取締役、株式会社麻生の古野金広副理事長など40名近くの日本企業家らとの座談会を行い、意見を交換した。(24日付半島晨报A11面)

(注) 5月21日～5月27日の大連日報、半島晨报、大連晩報、新商報の記事をもとに作成。